



自衛隊栃木地方協力本部

令和7年度自衛隊栃木地方協力本部長感謝状贈呈式



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子）は、11月29日（土）、地本本部（宇都宮市）において、令和7年度自衛隊栃木地方協力本部長感謝状贈呈式を行った。

当日は、自衛官募集、就職援護、予備自衛官等の雇用及び防衛基盤の充実等の分野において自衛隊栃木地方協力本部に多大な貢献をされた2団体、学校2校、個人5名に対し感謝状を贈呈した。

栃木地方協力本部長は受賞者に対し「日々の任務にまい進出来るのは、全ての部内外機関の皆様のおかげです」と感謝の意を表した。

栃木地本は「今後も更に部内外関係機関より信頼される地本を目指し、地域の皆様と共に歩んでいく」としている。

P-1 下総航空基地体験搭乗！ ～海上自衛隊の航空基地の魅力を満喫～



迫力のある放水に歓声上がる



管制塔見学。体験搭乗実施中のP-1を見ることが出来た



タッチアンドゴーを行うP-1



P-1に搭乗

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子）は12月6日（土）、海上自衛隊下総航空基地において募集対象者等6名に対しP-1体験搭乗を行った。

当日は曇りの天候であったが、下総基地へ近づくと青空も一部見えるようになっていた。

下総航空基地へ到着すると、P-1の任務について、P-1の飛行機を動かす、飛行機が動くのを待つ、P-1の搭乗は緊張した面持ちであったが、いざ乗り込むときは緊張した面持ちであったが、P-1に乗り込むと徐々にリラックスして、期待の顔つきに変わっていった。

搭乗後、参加者は「旅客機とは違う雰囲気、ドキドキしていました。飛行機の勤務員の自衛官が体験になりました。景色が見れました」と興奮した様子で話してくれました。その後、地上救難班の救難消火車及び管制塔見学が行われ、救難消火車の見学では、至近距離で見学する迫力のある放水の大きな歓声が上がりました。管制塔見学では、P-1の離発着の様子を眺めながら管制官とP-1パイロットとの通信の会話を興味深々で見学していました。

管制官を見て「かっこいい」と笑顔で話してくれました。一日と海上自衛隊の航空基地の魅力を満喫した。栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に積極的に働きかけ、自衛隊への理解の推進及び募集活動に推進していく」としている。



P-1 下総航空基地体験搭乗！



消防車前で記念撮影をする参加者